

あんぱい ええまち かわにし創生総合戦略
実施状況報告書
(平成30年度)

川西市

目次

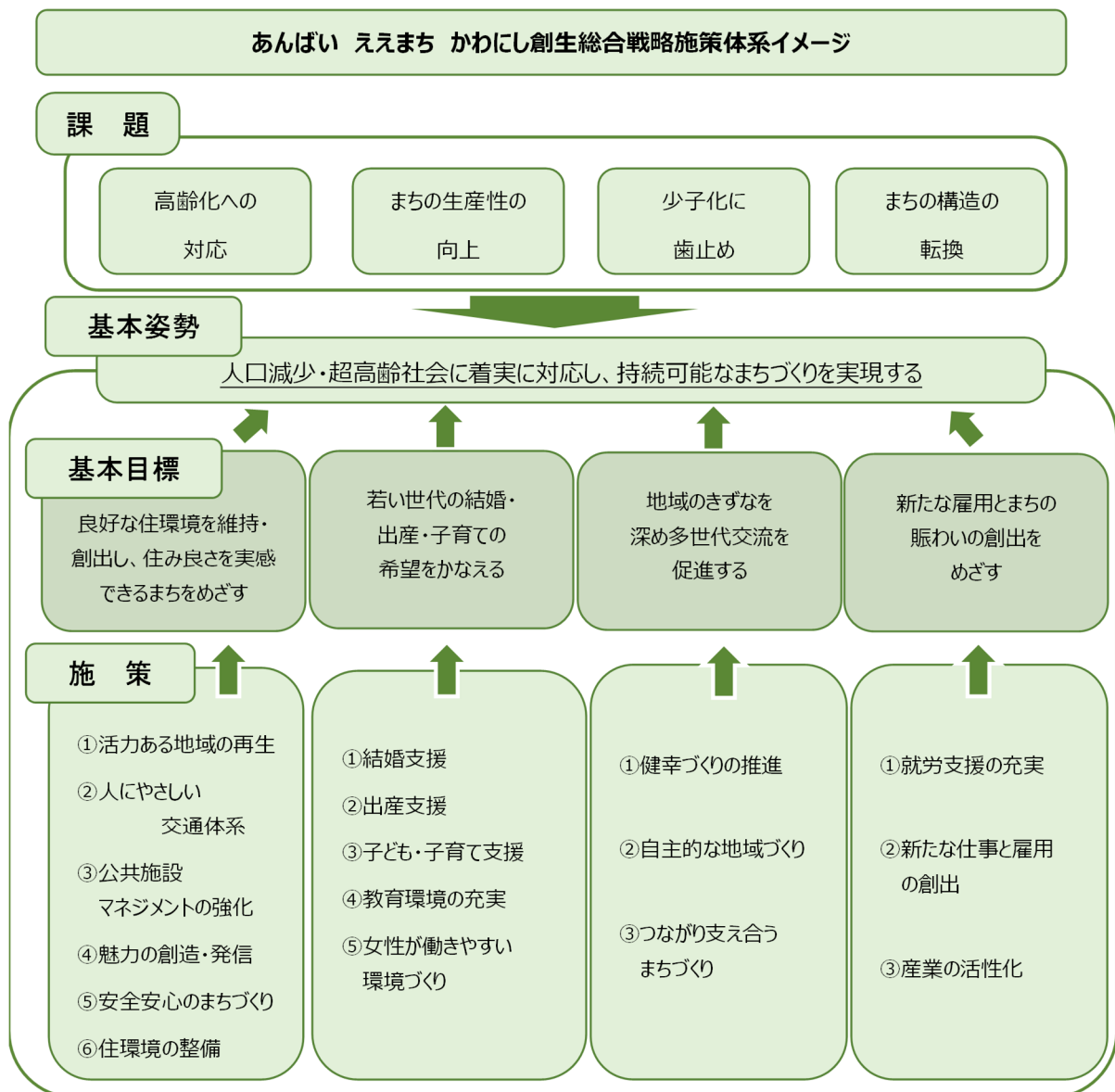
はじめに	1
1 「あんばい ええまち かわにし創生総合戦略」について	1
2 実施状況報告書作成の趣旨	2
具体的施策の実施状況	5
1 基本目標1 良好な住環境を維持創出し、住み良さを実感できるまちをめざす	6
活力ある地域の再生	7
人にやさしい交通体系	8
公共施設マネジメントの強化	9
魅力の創造・発信	10
安全安心のまちづくり	12
住環境の整備	14
2 基本目標2 若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえる	16
結婚支援	17
出産支援	18
子ども・子育て支援	19
教育環境の充実	21
女性が働きやすい環境づくり	23
3 基本目標3 地域のきずなを深め多世代交流を促進する	24
健幸づくりの推進	25
自主的な地域づくり	26
つながり支え合うまちづくり	27
4 新たな雇用とまちの賑わいの創出をめざす	28
就労支援の充実	29
新たな仕事と雇用の創出	30
産業の活性化	32

はじめに

1 「あんばい ええまち かわにし創生総合戦略」について

国では、急速な少子高齢化の進展に的確に対応し、日本全体、特に地方の人口の減少に歯止めをかけるとともに、東京圏への人口の過度の集中を是正し、それぞれの地域で住みやすい環境を確保して、将来にわたって活力ある日本社会を維持していくことが、喫緊の課題であるとして、まち・ひと・しごと創生に関する施策を総合的かつ計画的に実施することを目的に、「まち・ひと・しごと創生法」を制定、施行しました。

本市では、国の地方創生の動きに呼应し、平成28年3月に、「あんばい ええまち かわにし創生総合戦略」(以下「総合戦略」という。)を策定し、人口の転入・定住の促進、人口減少の抑制、まちの活性化における安定した地域づくり、安定した雇用の創出といった観点から、それぞれに対応する4つの基本目標を立て、その具体的な施策を展開しているところです。



2 実施状況報告書作成の趣旨

総合戦略に掲げた施策の着実な推進を図るためには、それぞれの施策の進捗状況について、成果や課題を分析し、必要な改善や見直しを図る必要があります（PDCAサイクルの構築）。

そこで、平成30年度の実施状況に係る進捗状況を明らかにするとともに、実施状況に対する効果検証を行った結果を取りまとめ、幅広く市民の皆さんと情報共有するため、実施状況報告書を作成しました。

凡 例

基本目標に掲げる内容のめざすべき方向性を記載しています。

基本目標1		良好な住環境を維持・創出し、住み良さを実感できるまちをめざす						
<p><基本的方向性> 恵まれた都市環境と自然環境を内外にアピールし、市外からの転入の呼び込み、市内在住者の定住の促進（流出抑制）を図ります。</p>								
数値目標								
指標	方向性	現状値	目標値	実績値				
		(H26)	(H31)	H27	H28	H29	H30	
数値目標	「居住地域に住み続けたい」と思う市民の割合	↗	76.3%	77.0%	73.6%	74.6%	72.2%	74.5%
	社会移動数転入・転出の均衡	→	48人 (H25)	均衡状態	△120人	△53人	△219人	△265人
幸せ実感指標	「住み良いまちだ」と思う市民の割合	↗	85.2% (H27)	86.2%	85.2%	83.4%	80.7%	85.4%

実績値は、平成31年5月末時点で把握できている数値を記載しています。
 数値が未把握の場合は、「-」としています。

基本目標を達成するために必要な施策とその施策の具体的な展開について記載しています。

基本目標1 良好な住環境を維持・創出し、住み良さを実感できるまちをめざす

具体的な施策の取組状況

施策 1 活力ある地域の再生
 <具体的施策の展開>
 ①団地再生に向けた地域の取組みを支援するため、「ふるさと団地再生の手引き」等を活用し、住民・地域団体・事業者・行政が連携できるようなネットワークの構築を支援します。
 ②現制度を含めたより効果的な制度・手法を検討し、子育て世帯等の人口流出抑制・流入促進を図ります。

【平成30年度の主な取組内容及び成果】
 上記<具体的施策の展開>にある記述の内、H30年度に取り組んだ内容を箇条書きで記載。

- <具体的施策の展開①>
 ○「ふるさと団地再生に向けた空き家対策の意見交換会」として、地域関係者、兵庫県、川西市の担当者が集まり、情報交換や意見交換を実施
 ○空き家の流通促進を目的に、宅建協会やNPO法人と連携協定を締結し、「空き家対策ナビゲーター養成講座」を支援
 <具体的施策の展開②>
 ○転入・定住促進を図るため、H25年度から実施している親元近居助成制度を継続実施（助成件数：106件（内訳：市内65件、市外41件））また、新たに若年夫婦世帯を助成対象者に加えた制度改正を実施（改正による成果件数：11件）
 ○子育て世帯を中心とした転入・定住を誘導する住宅施策として、「空き家活用リフォーム助成制度」を実施

KPI	方向性	現状値	目標値	実績値			
		(H26)	(H31)	H27	H28	H29	H30
生産年齢人口比率	→	58.5%	57.1% (H32)	57.3%	57.1%	56.9%	56.7%

【今後の課題及び方向性】

- 【平成30年度の主な取組内容及び成果】の内容を受け、施策の今後の課題・方向性を総括として記載。
 <具体的施策の展開①>
 ○団地再生に向けた地域主体の取組みの実施
 ➡団地再生に取り組む地域への支援のあり方について検討
 ○空き家の流通促進に向けた共助の取組みの実施
 ➡「空き家対策ナビゲーター」の活動を支援
 <具体的施策の展開②>
 ○若年世帯及び子育て世帯の転入・定住促進に係る住宅施策の構築
 ➡「空き家活用リフォーム助成制度」の対象要件拡充および新規補助事業として「若年・子育て世帯向け賃貸住宅供給支援」を実施

具体的施策の展開にあたって、今後求められる課題と方向性を記載しています。

実績値は、平成31年5月末時点で把握できている数値を記載しています。
 数値が未把握の場合は、「-」としています。

具体的施策の展開に向けて、平成30年度に取り組んだ内容及び成果を記載しています。

具体的施策の実施状況

総合戦略に基づく、4つの基本目標における個々の施策単位での取組みと成果及び課題と今後の方向性をとりまとめ、総合戦略の平成30年度の実施状況として、次頁以降のとおり報告します。

基本目標1 良好な住環境を維持・創出し、住み良さを実感できるまちをめざす

< 基本的方向性 >

恵まれた都市環境と自然環境を内外にアピールし、市外からの転入の呼び込み、市内在住者の定住の促進（流出抑制）を図ります。

数値目標

指標	方向性	現状値	目標値	実績値			
		(H26)	(H31)	H27	H28	H29	H30
数値目標	「居住地域に住み続けたい」と思う市民の割合	76.3%	77.0%	73.6%	74.6%	72.2%	74.5%
	社会移動数転入・転出の均衡	48人 (H25)	均衡状態	120人	53人	219人	265人
幸せ実感指標	「住み良いまちだ」と思う市民の割合	85.2% (H27)	86.2%	85.2%	83.4%	80.7%	85.4%

具体的な施策の取組状況

施策 1	<p>活力ある地域の再生</p> <p><具体的施策の展開> 団地再生に向けた地域の取組みを支援するため、「ふるさと団地再生の手引き」等を活用し、住民・地域団体・事業者・行政が連携できるようネットワークの構築を支援します。 現制度を含めたより効果的な制度・手法を検討し、子育て世帯等の人口流出抑制・流入促進を図ります。</p>
------	---

[平成30年度の主な取組内容及び成果]

<具体的施策の展開 >

「ふるさと団地再生に向けた空き家対策の意見交換会」として、地域関係者、兵庫県、川西市の担当者が集まり、情報交換や意見交換を実施

○空き家の流通促進を目的に、宅建協会やNPO法人と連携協定を締結し、「空き家対策ナビゲーター養成講座」を支援

<具体的施策の展開 >

転入・定住促進を図るため、H25年度から実施している親元近居助成制度を継続実施（助成件数：106件（内訳：市内65件、市外41件））また、新たに若年夫婦世帯を助成対象者に加えた制度改正を実施（改正による成果件数：11件）

子育て世帯を中心とした転入・定住を誘導する住宅施策として、「空き家活用リフォーム助成制度」を実施

KPI	方向性	現状値	目標値	実績値			
		(H26)	(H31)	H27	H28	H29	H30
生産年齢人口比率		58.5%	57.1% (H32)	57.3%	57.1%	56.9%	56.7%

[今後の課題及び方向性]

<具体的施策の展開 >

団地再生に向けた地域主体の取組みの実施
 団地再生に取り組む地域への支援のあり方について検討

空き家の流通促進に向けた共助の取組みの実施
 「空き家対策ナビゲーター」の活動を支援

<具体的施策の展開 >

若年世帯及び子育て世帯の転入・定住促進に係る住宅施策の構築
 「空き家活用リフォーム助成制度」の対象要件拡充および新規補助事業として「若年・子育て世帯向け賃貸住宅供給支援」を実施

具体的な施策の取組状況

施策 2 人にやさしい交通体系
 <具体的施策の展開>
 高齢者や子育て世帯などが気軽に移動できるよう、基幹公共交通の充実のほか、地域内公共交通の確立、高齢者への公共交通利用促進支援などに取り組みます。
 移動手段としても有効で、かつ健康増進にもつながる自転車の利活用を促進する取組みを推進します。

【平成30年度の主な取組内容及び成果】

- <具体的施策の展開 >
 環境に配慮した交通行動の推進を目的として、市内小学校でMM教育を実施(小学校11校、延べ17回開催)
- 次世代型オンデマンドモビリティサービスの実証実験に向けて、各関係者を交えた勉強会の開催
- 川西市公共交通基本計画の見直しの検討
- 持続可能な地域内公共交通についての検討のため、コミュニティにおいて協議会を開催(2コミュニティのうち、1コミュニティはお買い物タクシー実証実験を実施)
- (仮)交通ネットワーク計画の作成に向けた調査・検討
- <具体的施策の展開 >
 ○自転車通行位置の明示(車道混在L=240m)
- 阪神北県民局管内の自治体連携によるサイクルマップの改訂及びサイクルイベントの開催、サイクルラックの設置を支援

KPI	方向性	現状値	目標値	実績値			
		(H26)	(H31)	H27	H28	H29	H30
主に鉄道やバスなどの公共交通機関を利用している市民の割合		52.0%	56.0%	59.3%	52.4%	53.5%	52.3%

【今後の課題及び方向性】

- <具体的施策の展開 >
 公共交通によるまちづくりの推進に向けた市民等への交通まちづくり学習の充実
 市内小学校でのMM教育の継続的实施
- 次世代型移動サービスの川西モデルの構築
 オンデマンドモビリティサービスの実証実験及び情報技術を活用した新たな移動サービスの検討
- 指標目標達成に向けた取組みの実施
 川西市公共交通基本計画の見直しの検討
- <具体的施策の展開 >
 ○川西市自転車ネットワーク計画に基づく計画的な自転車ネットワーク路線の整備検討
- 自転車を活用した観光まちづくりの具体的な取組みの展開
 阪神北県民局及び近隣自治体、民間事業者との連携を図りながら、サイクルマップを活用したイベントの開催を支援

具体的な施策の取組状況

施策 3 公共施設マネジメントの強化
 <具体的施策の展開>
 ・公共施設の現状及び将来見通しを把握した上で、長期的な視点をもって更新・統廃合・長寿命化などを行うことにより、公共施設の最適な配置をめざし、良好な住環境の整備を推進します。

【平成30年度の主な取組内容及び成果】

○学校施設の詳細な取組方針と今後のスケジュール等を示す「(仮称)川西市学校施設長寿命化計画」の策定に向けて、学校施設の劣化状況調査を実施

KPI	方向性	現状値	目標値	実績値			
		(H26)	(H31)	H27	H28	H29	H30
公共施設の延床面積		358,356㎡ (H27)	356,000㎡	372,896㎡	358,153㎡	355,966㎡	370,538㎡

【今後の課題及び方向性】

総管理計画を踏まえた学校施設の詳細な取組方針等の決定
 「(仮称)川西市学校施設長寿命化計画」の策定

具体的な施策の取組状況

施 策 4	<p>魅力の創造・発信</p> <p><具体的施策の展開> 加茂遺跡、清和源氏の発祥の地、日本一の里山など様々な地域資源・観光資源を活用し、交流人口の増加を図ります。 あんばい ええまち かわにしプロジェクトの推進によるシティプロモーション(市の魅力を積極的に発信する取組)を展開し、本市の魅力の認知度の向上を図ります。 新たな交通の玄関口となる新名神高速道路(仮称)川西インターチェンジを活用し、新たな市の魅力の創造・発信への展開を図ります。</p>
-------	---

[平成30年度の主な取組内容及び成果]

<具体的施策の展開 >

清和源氏発祥の地川西をPRするため、源氏まつりを開催(観客数:約32,000人)

きらっと 阪神北オータムフェスタなど、各種イベントにおいて観光や特産品のPR活動を実施

○黒川ダリヤ園の維持・管理を実施

黒川まちづくり支援について、黒川地区等の観光マップ「秋里」(発行部数:25,000部)、「春里」(発行部数:25,000部)を発行したほか、大学と地域が連携した取組みを展開

黒川地域外のプレーヤーによるまちづくりの検討(井筒塾の開催:5回、延べ141人参加)

市内の市指定文化財(天然記念物)3か所に解説看板を設置

平野鉱泉工場跡旧御料品製造所(アサヒ飲料株式会社 三ツ矢記念館)及び旧源泉地施設を川西市登録文化遺産第1号に登録

「のせでんアートライン2019」の開催に向けた準備

「川西まちなか美術館」の開催支援(観覧者数:約21,000人)

<具体的施策の展開 >

市民参加型フェイスブックによる情報発信(フォロワー数:約1,100人)

観光デジタルガイドブック「裏かわにしさんぽ」の発行(発行回数:1回)

市公式インスタグラム「かわにしさんぽ」の開設(フォロワー数:約1,500人、投稿数:43件)

FM放送を活用したPRの実施(FMCoCoLo20分番組:9回、FM802:20秒CM126本)

<具体的施策の展開 >

魅力発信拠点の整備に向け、土地所有者や民間事業者と調整

KPI	方向性	現状値	目標値	実績値			
		(H26)	(H31)	H27	H28	H29	H30
観光客入込数		2,092千人	2,315千人	2,203千人	2,249千人	2,435千人	2,304千人
市公式シティプロモーションサイトへのアクセス件数		20,208件	142,700件	147,538件	135,413件	128,084件	67,185件

[今後の課題及び方向性]

<具体的施策の展開 >

様々な地域資源、観光資源を活用した観光まちづくりの具体的推進
まちの魅力向上プロジェクトにて、ダリヤ園のあり方を検討
黒川地区における地域住民や地域外のプレーヤーの活動を支援
郷土館(旧平安家住宅)を今後も適切に維持管理していくための調査設計を実施

まちの賑わいの創出に向けたイベント等への支援の充実
のせでんアートラインやまちなか美術館などのイベントとの連動による効果的なシティプロモーションの展開
定着しつつある「川西まちなか美術館」のイベント開催に加え、新たなアートイベントの開催を支援することにより、まちなかへの回遊を通じてまちの魅力を発信

<具体的施策の展開 >

本市の魅力の認知度の向上に加え、交流・定住人口の増加につなげる地域・イベント誘導型のシティプロモーションの展開
HPやSNSなどのチャネルを用い、日本一の里山「黒川」をはじめとする観光資源等をPRするシティプロモーションの展開

<具体的施策の展開 >

まちの賑わいの創出につながる土地利用に向けた調整
所有者の意向や開発条件等を踏まえ、最適な土地利用の検討

具体的な施策の取組状況

施 策 5	<p>安全安心のまちづくり</p> <p><具体的施策の展開> 高齢者、障がい者、要介護者など、全ての市民が安全で安心に暮らせるまちづくりを推進します。 防災行政無線及び防災機能を備えた公園施設等の整備、耐震改修への助成、消防力の強化などを通じて、災害に強いまちづくりを推進します。 防犯カメラの設置により防犯力の強化を図るなど、生活安全の充実を推進します。 防災・防犯の啓発を積極的に展開するとともに、地域における防災・防犯への取組みを支援し、安全・安心のまちづくりを推進します。</p>
-------	---

【平成30年度の主な取組内容及び成果】

<具体的施策の展開 >

○在宅医療・介護連携支援センターと地域包括支援センターの連携

○在宅医療・介護連携支援センターの相談件数53件(川西市・猪名川町・他市含む)

○つながりノートの改訂(ACPに関する内容を追加)

○地域包括型認知症ケアネットの作成

○各福祉避難所に応じたマニュアルを作成できるよう、既存の福祉避難所開設・運営マニュアルを改正し、手引きとなる改訂版を作成。手引きをもとに、市の施設で指定管理を行っている社会福祉協議会と連携し市の施設でのマニュアルの作成に着手

<具体的施策の展開 >

災害時に適切な避難行動を行えるよう、防災行政無線情報をケーブルテレビ網を通じて発信を行うとともに国との連携放送やイベント、出前講座等で防災マップなどを使った啓発を行い、情報伝達手段について周知

防災機能を備えた公園施設の整備を実施(2公園)

○住宅及び多数利用建築物の耐震化の促進に向けた補助事業を実施するとともに、市民への意識啓発を実施。また、大阪北部地震を受けて、道に面した危険ブロック塀等の撤去支援事業を実施

○増隊した救急隊による市域全体の需要対策を実施

○近隣消防本部との連携・協力について、実施計画を作成

<具体的施策の展開 >

子どもの安全確保及び犯罪の未然防止を目的として、各小学校区の通学路等に設置した防犯カメラについて、「防犯カメラ設置及び管理運用に関する要綱」に基づく適切な管理運用

○生活安全推進連絡協議会を通じて、希望するコミュニティに対し、防犯カメラの設置を明示する告示幕を配付し電柱等に貼付していただいたことによる防犯カメラの設置効果向上(6コミュニティ、合計87箇所貼付)

<具体的施策の展開 >

出前講座やイベント、地域の防災訓練などで浸水害や土砂災害の注意すべき地域や避難所の場所、災害に関する知識、備蓄や家具の固定などの備えについて啓発を実施(講師派遣等回数:65回)

各地域における生活安全上の課題について協議する場として、生活安全推進連絡協議会を開催し、地域や関係団体と行政の連携体制の強化

防犯カメラ設置事業補助金の交付などにより、地域の安全確保に向けた取組みの支援を実施(補助金交付件数:2件)

KPI	方向性	現状値	目標値	実績値			
		(H26)	(H31)	H27	H28	H29	H30
「地域で高齢者や障がい者・児童等を見守り、支援する仕組みができている」と思う市民の割合		28.5% (H29)	33.1%	-	-	28.5%	32.5%
「災害に強いまちだ」と思う市民の割合		25.3%	30.2%	25.6%	22.6%	29.0%	28.6%
地震や火災などの災害に対する備えができている市民の割合		34.0%	38.4%	32.1%	29.8%	29.4%	45.1%
人口一人あたりの犯罪発生率		0.89%	0.79%	0.82%	0.87%	0.81%	0.72%

【今後の課題及び方向性】

<具体的施策の展開 >

○入退院支援ルールの普及

在宅医療・介護連携推進協議会勉強会を開催し普及促進

○ACPの考え方の普及

改訂版つながりノートの普及促進、つながりノート連絡会での啓発

○認知症になっても住み慣れた地域で安心して暮らし続けられる社会の実現

ケアネットの普及による認知症への理解の促進と地域の支援体制の構築

福祉避難所運営マニュアル(指針)の作成

福祉避難所となる市の施設における開設・運営マニュアルを作成し、開設訓練などを通じて見直ししながら、他の施設でのマニュアル作りにつなげていく。

全地域において災害時に備えた避難行動要支援者の個別支援計画の作成

未作成地区において、兵庫県のモデル事業などを活用し、防災部局と連携を取りながら計画作成に取り組んでいく。

<具体的施策の展開 >

災害に強いまちづくりの推進に向けた体制の強化

迅速な避難行動に繋げるため、情報伝達手段の多重化を推進

防災機能を備えた公園の整備の促進

耐震改修促進事業の推進及び市民への意識啓発の継続的実施

市域環境の変化を考慮し、救急体制のさらなる工夫を含めた消防環境の充実を継続検討

消防の連携・協力に係る実施計画項目を実施し、さらなる内容について拡張させるよう継続的に検討協議

<具体的施策の展開 >

防犯カメラの適切な管理運用

「防犯カメラ設置及び管理運用に関する要綱」に基づく適切な管理運用

<具体的施策の展開 >

地域における防災・防犯に対する意識の高揚及び取組みの充実

出前講座や防災訓練等、自主防災組織の活性化への支援

生活安全推進連絡協議会における情報交換や防犯カメラ設置事業補助金交付の継続

地域の自主的な防犯活動に対する支援の継続により、「地域の安全は地域で守る」という意識の醸成

具体的な施策の取組状況

施 策 6	<p>住環境の整備</p> <p><具体的施策の展開> 道路、交通安全施設、公園、上下水道の環境整備など、安全安心で、かつ良好な住環境に向けた取組みを推進します。 ごみの減量化や資源化の推進を図るなど、環境の保全や快適な生活空間の創出への取組みを推進します。 低炭素のまちづくりを推進し、良好な住環境の創出によるまちの魅力の創造に取り組みます。</p>
-------	---

[平成30年度の主な取組内容及び成果]

<具体的施策の展開 >

- 橋りょうの長寿命化計画に沿った補修詳細設計業務の実施（8橋）
- 橋りょうの長寿命化計画の基礎となる道路橋定期点検の実施(7橋)
- 横断歩道橋・大型カルバート定期点検の実施（10橋）
- 交通の円滑化及び歩行者等の安全性の向上を図るため、都市計画道路の整備を促進（L=40m）
- 新規に設置する街路灯に関してL E Dの設置を実施（66基）
- 公園において遊具やフェンスの改良・更新を実施（24公園）
- 鉛給水管改良事業を計画的に実施（1,675件）
- 地震等の災害に備えるため、配水池の耐震調査を実施するとともに、基幹管路及び基幹施設の耐震化工事を実施
 (調査：1池、工事：基幹管路L=約640m、配水池2池施工中（平成30・31年度継続事業）)
- 快適で衛生的な生活環境を図るために、下水道の管渠整備を実施（4地区L = 643m）
- 雨水浸水防除及び公共用水域の水質保全のため、管渠整備や雨水ポンプ場の安定的な運転管理を維持するためにエンジン等の設備の更新を実施
- 家庭向けに雨水貯留タンクの設置助成を実施（助成件数：36件）

<具体的施策の展開 >

- ・ごみ減量化にかかる啓発を図るため、
- ・出前講座や学習会の開催(開催回数:21回 参加者数:1,546人)
- ・啓発パネル展示会を開催(開催期間:30日間)
- ・啓発紙の発行(年2回発行)

○環境保全や快適な生活空間の創出のため、路上喫煙・ポイ捨て防止モデル区域において実態調査を行った。また、市民団体とともにモデル地区において、啓発ティッシュの配布等の啓発活動を実施(参加団体:8団体、参加者数52人)。広報誌やイベント等におけるブース設置等機会をとらえた広報活動を展開。

<具体的施策の展開 >

○キセラ川西地区内において、低炭素化の達成状況について、実績を評価するため、エネルギーモニタリングを実施し、誘導により一次エネルギー消費量の削減率は、まち全体で2.0%の削減を達成

○キセラ川西せせらぎ公園での自然学習、エネルギー、防災面の取り組みを市民に紹介するガイド(公園探検ツアー)を実施(1回)

○夏休みに小学生の親子を対象に実験とクイズを交えた体験学習を実施(1回)
家庭でのエコ活動につながる機会を提供

○美化推進課が主催する、子どもたちに「環境」について考える体験型イベント:キッズ「り・ぼ・ん」のワークショップに出展し、キセラ川西の名称・位置等の説明と手回し発電機による発電実験を実施(1回)
キセラ川西のエコなまちづくり並びに電気エネルギーへの気付きの機会を提供

○良好な住環境の創出によるまちの魅力の創造の取り組みとして、市内において里山整備や身近な自然環境の保全活動をしている団体によるシンポジウムを開催し、日ごろの活動内容や活動における課題などを参加者と共有(参加団体:22団体、参加者数:160人)

KPI	方向性	現状値	目標値	実績値			
		(H26)	(H31)	H27	H28	H29	H30
「生活道路が安心して通行できる」と思う市民の割合		58.2%	62.1%	57.9%	59.1%	57.9%	58.1%
公園を満足して利用している市民の割合		10.9%	16.1%	14.3%	13.1%	12.3%	16.0%
環境に配慮した行動を心がけている市民の割合		86.2% (H29)	89.0%	-	-	89.0%	87.2%
ごみ収集・処分に対する満足度		68.2% (H29)	79.7%	-	-	68.2%	71.1%

[今後の課題及び方向性]

<具体的施策の展開 >

- 安全安心、かつ良好な住環境に向けた計画的・継続的な取り組みの実施
- 橋りょう長寿命化に沿った修繕工事(設計)の実施
- 計画的な歩道切下げ工事の実施
- 長寿命化計画に基づく公園遊具の改良・更新の継続的実施
- 水道事業による安心安全な水の供給
- 下水道事業による公衆衛生の向上及び効率的な施設管理

<具体的施策の展開 >

- ごみ減量化や環境保全に関する意識のさらなる醸成
- 啓発事業や市民、団体等の活動状況など広く市民への周知に向けた広報活動の展開

<具体的施策の展開 >

- キセラ川西地区内における、低炭素のまちづくりの啓発活動
市民及び事業者の協力を得るため、低炭素化への取り組みを広く周知
- 自然環境との調和による良好な住環境の維持・創出
引き続きシンポジウムを開催するなど、自然活動団体の支援を実施